

2005年2月23日

新幹線から横丁へ～JR東日本ならではの旅

ローカル線の旅 全6線区 好評発売中!

昨年発表になったJR東日本ならではの新しい商品「ローカル線の旅」。新幹線で目的地までお出かけた後は、ゆったりとローカル線に乗って気ままに沿線をお楽しみいただく旅のスタイルで、ご利用のお客さまに非常にご好評をいただいています。

2005年はそんなお客さまのご期待にこたえ、新たに「Vol.5 磐越西線」「Vol.6 越後・弥彦線」を新規設定、全6線区をご用意させていただきました。

暖かくなった春を見つけに、ぜひ「ゆったりとした時間の中で地元に触れ合う旅」をローカル線の旅で堪能ください。

「新幹線から横丁へ～ローカル線の旅」商品概要

設定期間:2005年4月1日～9月30日

商品形態:往復の交通(各線区内乗り降り自由な乗車券付)+宿泊コース *両毛線は日帰りコースあり

設定線区:全6線区

Vol.1 陸羽東線～湯めぐりと芭蕉の列車旅。

山形県の新庄(しんじょう)駅から宮城県の小牛田(こごた)駅を結ぶ陸羽東線。奥羽山脈を横断するこの線区沿いには昔ながらの温泉場が点在する。奥の細道に触れながら温泉三昧の旅へお出かけください。

Vol.2 飯山線～日本の原風景をたずねて

車窓がまるで額縁のように、流れる景色が美しい。長野県の飯山線沿いは初めて訪れるのになぜかなつかしい、忘れかけていた日本を思い出させてくれる。四季折々に訪れたいローカル線ファンも一押しの線区。

Vol.3 水郡線～久慈川を辿る食紀行。

茨城県水戸駅から福島県の郡山駅を結ぶ水郡線(すいぐんせん)は線区沿いに滋味あふれる自然が呼吸をしている。奥久慈の地力に満ちた滋味を堪能できる「食」の線区。

Vol.4 両毛線～近くて、歴史と文化に触れる旅。

首都圏から最もなじみの深い両毛線(りょうもうせん)は歴史と文化を色濃く残す。首都圏から気軽に行ける歴史めぐりの旅にお出かけください。

新登場 Vol.5 磐越西線～往時の栄華をいまに伝える会津路へ。

福島県郡山駅と新潟県の新津駅を結ぶ磐越西線。線区沿いに広がる美しい自然や温泉地は有名だが、一方で深い歴史や文化の重みを感じさせる土地でもある。ゆったりとした時間の中で歴史をひもとく旅はいかがですか？

新登場 Vol.6 越後・弥彦線～日本海、歴史と魚の越後紀行。

新潟駅～柏崎駅間を日本海を背骨にして走る越後線。途中吉田駅では弥彦線と交わる。車窓から日本海をのぞむことはできないが、途中下車をしながら日本海との交わりを楽しむ旅ができる。



- Vol.1 陸羽東線
フリー区間: 小牛田駅 ~ 新庄駅
- Vol.2 飯山線
フリー区間: 長野駅 ~ 越後川口駅
- Vol.3 水郡線
フリー区間: 水戸・常陸太田駅 ~ 郡山駅
- Vol.4 両毛線
フリー区間: 小山駅 ~ 高崎駅
- Vol.5 磐越西線
フリー区間: 郡山駅 ~ 新津駅
- Vol.6 越後・弥彦線
フリー区間: 柏崎駅 ~ 新潟駅・弥彦駅 ~ 東三条駅

